

# 千葉・袖ヶ浦で 特殊配管製造

## 旭テックが新工場

### プラント・設備工事関連拡充

旭テック（千葉県袖ヶ浦市、吉野茂社長、04388・63・3201）は、ステンレスやアルミニウムなどの素材を使った特殊な配管を製造する新工場を袖ヶ浦市内に早ければ2017年4月に稼働させる。石油化学をはじめ、食品や製薬など幅広い業界からの需要を取り込む。隣接する既存工場との生産体制を構築して競争力を高める。プラントや設備工事に関連する収益基盤の拡充を狙う。

旭テックは石油化学は約1万9800平方メートル、プラント、ゴゴは延べ床面積は約1万1200平方メートルで、ミ焼却場などの設計から施工、保守工事までを手がけており、居抜き倍広くなる。特殊配管を製造して配管工事に生かす。新敷地面積活用する。



袖ヶ浦市内の工場

工場を大型回転機の保守にも活用することで、ポンプやコンプレッサーメーカーからの需要のほか、京葉臨海コンビナート内の企業からの引き合いも見込

む。また、新工場の稼働に伴って既存工場の運用も見直す。小型回転機の保守を将来的に新工場に移管する予定。既存工場で主力商品であるスチール配管の溶接などを行い、両工場により生産体制を強化する。

旭テックはラサ商事の子会社で、同社が4月から始めた3カ年の中期経営計画では新工場による事業拡大や、顧客の設備更新需要への対応を打ち出している。プラント・設備工事関連の16年3月期売上高が前期比3・3倍の35億円で、受注も増やしている。